



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 児玉化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4222 URL http://kodama-chemical.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)豊島 哲郎
 問合せ先責任者 (役職名)経理財務部長 (氏名)大洞 豪将 (TEL)03(3279)4900
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年3月期第1四半期 | 4,558 | △0.8 | △69 | — | △107 | — | △134 | — |
| 30年3月期第1四半期 | 4,594 | △8.2 | 42 | — | △44 | — | △88 | — |

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 △187百万円(—%) 30年3月期第1四半期 △40百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年3月期第1四半期 | △3.68 | — |
| 30年3月期第1四半期 | △2.62 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 31年3月期第1四半期 | 16,357 | 1,416 | 4.2 |
| 30年3月期 | 16,531 | 1,555 | 5.3 |

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 694百万円 30年3月期 884百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-----|-----|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期 | — | — | — | 0 | 0 |
| 31年3月期 | — | — | — | — | — |
| 31年3月期(予想) | — | — | — | 0 | 0 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|------|-------|------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 9,000 | △3.5 | 100 | 572.7 | 30 | — | 0 | — | 0.00 |
| 通期 | 19,000 | △4.8 | 350 | 199.1 | 200 | — | 100 | — | 2.75 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 31年3月期1Q | 37,389,411株 | 30年3月期 | 37,389,411株 |
| 31年3月期1Q | 976,760株 | 30年3月期 | 1,002,217株 |
| 31年3月期1Q | 36,393,533株 | 30年3月期1Q | 33,769,633株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | P. 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | P. 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P. 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | P. 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | P. 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | P. 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P. 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | P. 7 |
| (会計方針の変更) | P. 7 |
| (セグメント情報等) | P. 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策により、雇用情勢が改善し、景気は緩やかな回復基調となりましたが、米国のトランプ政権による自国第一主義に基づく政策や、中国及び新興国の経済動向、さらには地政学的リスクの高まり等、世界経済の不確実性により、景気の先行きは不透明な状況にあります。

当社グループにおきましても、国内に於いては、自動車部品事業では、新規に立ち上がった三次元加飾工法やガラス繊維マットプレス新工法等による新製品が売上高に寄与しましたが、新規分野及び既存分野での新製品の生産開始に伴う製造現場の混乱は概ね終息したものの、対応のため追加された費用の削減は途上であり減益となりました。住宅設備・冷機部品事業では新規住宅着工並びにリフォーム市場が低調に推移したため、売上高が減少し収益が悪化しました。海外に於いては、ASEAN地域において一部で景気回復の兆しが見え始め、特にタイの経済が堅調に推移し始めました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,558百万円(前年同四半期比0.8%減)と減収となり、営業損失は69百万円(前年同四半期は営業利益42百万円)、経常損失は107百万円(前年同四半期は経常損失44百万円)、税金等調整前四半期純損失は107百万円(前年同四半期は税金等調整前四半期純損失50百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は134百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失88百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 自動車部品事業

当事業の国内自動車部門におきましては、三次元加飾工法やガラス繊維マットプレス新工法等による新製品及び中東向け乗用車部品が堅調に推移いたしました。また、海外自動車部門におきましては、タイのECHO AUTOPARTS(THAILAND) CO., LTD. では自動車生産が回復基調になりつつあり、売上高は増加しました。

この結果、売上高は2,798百万円(前年同四半期比13.0%増)、セグメント利益は38百万円(前年同四半期比75.8%増)となりました。

② 住宅設備・冷機部品事業

当事業の国内住宅設備部門におきましては、新規着工戸数低迷が続き、特に当社主力の高価格帯商品が低迷し、売上高は減少いたしました。また、海外冷機部品部門におきましては、タイのTHAI KODAMA CO., LTD及びベトナムのTHAI KODAMA (VIETNAM) CO., LTD. では概ね順調に推移いたしました。中国の無錫普拉那塑膠有限公司では、新規受注が減少し、売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は1,629百万円(前年同四半期比16.8%減)、セグメント利益は15百万円(前年同四半期比85.1%減)となりました。

③ エンターテインメント事業

当事業におきましては、映像用ソフトパッケージの需要は増加しましたが、ゲームソフトパッケージの需要が減少したことにより、売上高は減少しました。

この結果、売上高は130百万円(前年同四半期比19.1%減)、セグメント損失は3百万円(前年同四半期はセグメント利益5百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は16,357百万円となり、前連結会計年度末に比べ173百万円の減少となりました。

資産では、流動資産が現金及び預金の増加等により176百万円増加し、固定資産が有形固定資産の機械装置及び運搬具の減少等で350百万円減少しました。

負債では、流動負債が支払手形及び買掛金の減少等により269百万円減少し、固定負債が長期借入金の増加等により235百万円増加しました。

純資産では、利益剰余金の減少等により139百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成30年5月14日公表の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日) |
|------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,512,114 | 1,701,652 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,709,982 | 3,838,479 |
| 商品及び製品 | 435,978 | 505,969 |
| 仕掛品 | 288,408 | 302,365 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,156,701 | 1,157,915 |
| その他 | 520,226 | 293,228 |
| 貸倒引当金 | △10,585 | △10,460 |
| 流動資産合計 | 7,612,826 | 7,789,150 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 5,945,987 | 5,920,110 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △3,392,498 | △3,422,814 |
| 建物及び構築物(純額) | 2,553,489 | 2,497,296 |
| 機械装置及び運搬具 | 7,857,891 | 7,709,900 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △6,399,624 | △6,366,813 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,458,266 | 1,343,086 |
| 土地 | 2,951,920 | 2,942,368 |
| リース資産 | 884,342 | 869,849 |
| 減価償却累計額 | △311,686 | △329,517 |
| リース資産(純額) | 572,656 | 540,331 |
| 建設仮勘定 | 198,631 | 185,918 |
| その他 | 2,740,014 | 2,765,325 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △2,004,095 | △2,124,513 |
| その他(純額) | 735,919 | 640,812 |
| 有形固定資産合計 | 8,470,882 | 8,149,813 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 80,901 | 78,133 |
| 無形固定資産合計 | 80,901 | 78,133 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 297,472 | 271,771 |
| 長期貸付金 | 113,650 | 113,650 |
| 固定化営業債権 | 18,990 | 18,990 |
| 繰延税金資産 | 21,937 | 21,890 |
| その他 | 108,771 | 107,598 |
| 貸倒引当金 | △194,144 | △193,704 |
| 投資その他の資産合計 | 366,677 | 340,195 |
| 固定資産合計 | 8,918,461 | 8,568,142 |
| 資産合計 | 16,531,288 | 16,357,293 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,627,800 | 3,429,406 |
| 短期借入金 | 7,036,483 | 6,945,197 |
| リース債務 | 117,596 | 108,218 |
| 未払法人税等 | 16,184 | 18,941 |
| 賞与引当金 | 47,325 | 115,570 |
| 環境対策引当金 | 5,649 | — |
| その他 | 898,095 | 861,937 |
| 流動負債合計 | 11,749,135 | 11,479,272 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,237,705 | 2,573,932 |
| リース債務 | 330,770 | 296,841 |
| 繰延税金負債 | 96,380 | 44,930 |
| 株式給付引当金 | 23,573 | 19,225 |
| 退職給付に係る負債 | 518,382 | 513,778 |
| その他 | 19,470 | 12,700 |
| 固定負債合計 | 3,226,283 | 3,461,408 |
| 負債合計 | 14,975,418 | 14,940,681 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,238,169 | 3,238,169 |
| 資本剰余金 | 197,562 | 179,480 |
| 利益剰余金 | △2,568,732 | △2,702,763 |
| 自己株式 | △86,275 | △83,915 |
| 株主資本合計 | 780,723 | 630,970 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 44,372 | 26,541 |
| 繰延ヘッジ損益 | △11 | △10 |
| 為替換算調整勘定 | 50,128 | 22,917 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 8,828 | 14,187 |
| その他の包括利益累計額合計 | 103,317 | 63,636 |
| 非支配株主持分 | 671,828 | 722,005 |
| 純資産合計 | 1,555,870 | 1,416,611 |
| 負債純資産合計 | 16,531,288 | 16,357,293 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 4,594,333 | 4,558,243 |
| 売上原価 | 4,019,231 | 4,092,459 |
| 売上総利益 | 575,102 | 465,784 |
| 販売費及び一般管理費 | 532,174 | 535,305 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 42,927 | △69,521 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,707 | 2,266 |
| 受取配当金 | 3,459 | 3,824 |
| 助成金収入 | 9,069 | 9,349 |
| 固定資産売却益 | — | 16,715 |
| その他 | 11,505 | 8,040 |
| 営業外収益合計 | 27,740 | 40,196 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 47,457 | 50,975 |
| 支払手数料 | 4,105 | 5,416 |
| 為替差損 | 4,707 | 12,425 |
| 持分法による投資損失 | 49,363 | — |
| その他 | 9,257 | 9,569 |
| 営業外費用合計 | 114,891 | 78,386 |
| 経常損失(△) | △44,222 | △107,711 |
| 特別損失 | | |
| 事業構造改善費用 | 5,860 | — |
| 特別損失合計 | 5,860 | — |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △50,082 | △107,711 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,128 | 7,884 |
| 過年度法人税等 | — | 12,631 |
| 法人税等調整額 | 9,827 | 1,553 |
| 法人税等合計 | 13,955 | 22,068 |
| 四半期純損失(△) | △64,037 | △129,779 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 24,598 | 4,251 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △88,635 | △134,031 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △64,037 | △129,779 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 13,926 | △17,831 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | 0 |
| 為替換算調整勘定 | △8,925 | △45,343 |
| 退職給付に係る調整額 | 17,003 | 5,832 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 2,000 | — |
| その他の包括利益合計 | 24,004 | △57,341 |
| 四半期包括利益 | △40,032 | △187,121 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △60,660 | △173,712 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 20,627 | △13,408 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成28年11月30日付発行の第三者割当による行使価額修正条項付第1回新株予約権の一部行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ84,183千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が3,190,998千円資本剰余金が150,392千円となっております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|-----------------------|-------------|-----------------|-----------------|-----------|
| | 自動車部品 事業 | 住宅設備・冷機部品 事業 | エンターテイメント 事業 | |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,476,209 | 1,957,047 | 161,076 | 4,594,333 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 25,099 | 74,834 | — | 99,934 |
| 計 | 2,501,308 | 2,031,882 | 161,076 | 4,694,267 |
| セグメント利益 | 21,801 | 103,142 | 5,578 | 130,521 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|--------------------------------|----------|
| 報告セグメント計 | 130,521 |
| 全社費用(注) | △156,826 |
| 未実現損益調整額 | 346 |
| その他の調整額 | △24,123 |
| 四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純損失 (△) | △50,082 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|-----------------------|-------------|-----------------|------------------|-----------|
| | 自動車部品 事業 | 住宅設備・冷機部品 事業 | エンターテインメント 事業 | |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,798,679 | 1,629,197 | 130,366 | 4,558,243 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 32,132 | 88,023 | — | 120,155 |
| 計 | 2,830,811 | 1,717,220 | 130,366 | 4,678,399 |
| セグメント利益または損失(△) | 38,330 | 15,344 | △3,775 | 49,899 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|--------------------------------|----------|
| 報告セグメント計 | 49,899 |
| 全社費用(注) | △161,241 |
| 未実現損益調整額 | 346 |
| その他の調整額 | 3,283 |
| 四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純損失 (△) | △107,711 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。